

## 会議録

1. 附属機関の名称

犬山市健康まちづくり推進委員会

2. 開催日時

令和5年3月22日（水）午後2時から午後3時30分まで

3. 開催場

犬山市役所 2階205会議室

4. 出席者

（1）委員

渡辺俊介、宮田昭男、榊原吉峰、竹腰篤、杉浦隆、江畑容子、  
奥村好樹、松浦英幸、布目訓久、田口庸子、小林光子、澤野光子、  
勝又美樹、岡村千里、長谷川泰彦

（2）庁内関係課（高齢者支援課、福祉課、保険年金課、子ども未来課、学校教育課、文化スポーツ課、地域協働課、防災交通課、企画広報課、産業課、環境課）

（3）事務局

健康福祉部長 高木衛

健康推進課（松澤晶子課長、西村岳之主幹、野村潤子課長補佐、武内道広課長補佐、  
河村佐久良主任主査、増井あずさ主事）

5. 議題

（報告事項）

「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21」策定に向けて

（協議事項）

- ・令和5年度の主な事業について  
フレイル対策事業の展開について  
妊娠期からの子育て支援事業について
- ・犬山市健康づくり推進事業所表彰候補について

6. 傍聴人の数

0人

7. 内容

課長	<p>本日は、犬山市健康まちづくり推進委員会の開催にあたり、ご多用の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>私は、健康推進課長の松澤と申します。会長が選任され、議事に入るまでの進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>では、まず始めに、原市長より委員の皆様へご挨拶させていただきます。</p>
市長	<p>日頃より格別のご尽力をいただき感謝申し上げます。</p> <p>犬山も WBC のチームジャパンを見習い、チーム犬山として横軸でつながって、犬山がどうあるべきか考えていきたい。</p> <p>犬山にも課題があるが、一番の問題は少子高齢化の問題で、働く世代の人が少なく 80 歳以上の高齢者が増えている。そんななかで、高齢者の方に健康でいていただくことがとても大切なことである。</p> <p>带状疱疹ワクチンの補助を来年度から開始することにしておりますが、带状疱疹は 80 歳をこえると 3 人に 1 人が罹患する。</p> <p>犬山市としては市民のみなさまの健康サポートをしていきたい。</p> <p>健康づくり犬山として取り組んで、健康寿命と平均寿命の差を縮めていきたい。</p> <p>健康づくりの様々な提案をしつつ、来年度タウンミーティングを開催しますが、だれもが健康になる犬山を考えていこうと言う事で、これは健康プランの改訂に合わせたものではありませんが、強い思いをもって取り組んでいきたい。いろんな団体の人に集ってもらって、これからの事業展開に役立てていきたい。本日はよろしくお願いいたします。</p>
課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委嘱状伝達となっておりますが、本来市長からお一人ずつ委嘱状を伝達させていただくのが本意ではございますが、時間の都合上、お席にご用意させていただきましたので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本委員会は、市民、地域、行政が協働で健康なまちづくりを進めていく上で、医療福祉に関係の深い団体や、労働産業、学校教育等の関係の方々より、各委員のお立場からご意見を頂戴し、市民の「健康寿命の延伸」を目的に健康づくりの推進を図るものでございます。</p> <p>任期は、本日3月22日からの3年間、19名の方に委員委嘱をさせていただくものでございます。</p> <p>それでは、3年間の新しい任期となりますので、委員の皆様よりお一人ずつ自己紹介として、所属とお名前を順にお願いいたします。</p>
委員	<p>【順に自己紹介】</p>

課長	<p>本日は健康推進課事務局職員のほか、関係各課 11 課の課長や課長補佐が参加させていただいております。業務の都合上途中退席もありますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日も都合により 1 号委員の近藤委員、鈴木委員、3 号委員の山口委員が欠席との連絡をいただいております。また 2 号委員の宮崎委員につきましては急患対応のため遅れてくるとの連絡をいただいております。</p> <p>委員 19 名のうち【15】名の委員にご出席いただいておりますので、当委員会の規則第 4 条第 3 項の規定に基づき、本日の委員会は成立となります。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の会議資料は、事前に郵送でお送りしておりますが、本日の次第の外、</p> <p>①「犬山市健康まちづくり推進委員会委員名簿」  ②「犬山市健康まちづくり推進委員会規則」  ③「令和 4 年度犬山市健康まちづくり推進委員会」(資料 1～5)</p> <p>不足等ございましたらお申し出ください。</p> <p>続きまして、会議録の公表について申し上げます。</p> <p>この「健康まちづくり推進委員会」は附属機関の会議でありまして、「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱第 5 条 3 項」により会議録等を公表することとなっております。</p> <p>そのため、同要綱第 5 条 2 項により会議録に署名が必要となりますので、この後、会長が選出されましたのち、会長から 2 名の委員を指名させていただきますので、指名された委員は後日ご協力をお願いいたします。</p> <p>続いて、次第に沿って、会長、副会長の選出に入らせていただきます。</p> <p>当委員会の規則第 3 条の会長が選出されますまで、慣例により、会の取り回しを高木健康福祉部長が務めさせていただきます。</p>
部長	<p>会長の選出まで私が仮の議長として、議事を進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>会長及び副会長の選任についてですが、規則第 3 条により、委員の互選となっておりますので、ご発言をお願いします。</p>
委員	<p>この会議は健康づくりと予防医療を柱に健康寿命の延伸を目指していく場であるため、厚労省との関連が強く全国の先進的な情報をお持ちの渡辺委員に引き続き会長を、また犬山市の保健、医療施策について長年に渡ってご指導されている宮田昭男委員に副会長をお願いしてはどうでしょうか。</p>
部長	<p>ただいま 松浦委員より会長には、渡辺俊介 委員、副会長には、宮田昭男 委員との推挙の声がございましたが、委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>それでは、会長を 渡辺俊介 委員に、副会長を 宮田昭男 委員に決定いたしますのでお願いいたします。</p>

	<p>これで、私は、仮議長の任を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
課長	<p>会長、副会長は前の席へ移動をお願いします。</p> <p>では早速ですが、会長、副会長からそれぞれご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ちょうど今日も東京から参ったんですが、30 年ほど前からご縁があって犬山に来ています。行政も医師会も熱心という全国でも数少ないところでございます。</p> <p>私自身 80 歳になりますが、体が続く限り健康づくりに尽力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。</p>
副会長	<p>新しいスタートになりましたので、私なりに一言ご挨拶を申し上げたい。</p> <p>この会議は何度か名前が変わっていますが、1999 年にスタートして新病院を建てるのかということから始まり医療体制を協議していたのです。私自身当初から会議に参加しておりますが、もうひと踏ん張りがんばれとのお声があちこちから出ていますので、頑張っていきたい。</p> <p>もう一言でございますけれど、犬山市は超高齢社会に突入して 17 年、高齢化率は 29.3%、高齢者の人口では、21490 人でございます。ここで協調したい超高齢社会の健康上の真の問題は、多病、老年症候群の増加、それに加齢に伴う認知機能の低下。入院患者の半数以上は 75 以上であり、医療・介護の一体的な施策を推進しています。高齢者は何を必要としているかという、死亡率の低下は重要ではなく、まず第一に身体機能の維持向上、二番目に家族の負担の軽減、そして三番目に質の高い街づくりQOLの改善。その三点が重要視されています。全庁横断的な取り組みへの発想の転換と前向きな姿勢を持って取り組ましますので、今後ともよろしくお願いいいたします。</p>
課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では続きまして、会長が選任されましたので、議題に入る前に、市長より諮問をさせていただきます。市長、会長、前をお願いします。</p>
市長	<p>【市長 諮問書読み上げ】</p>
課長	<p>ありがとうございました。それでは正式に市長より諮問いただきました。これより計画策定について順次教示を行っていただきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。</p> <p>さて、これより、現在、厚生労働省や経済産業省等と協働で国民の健康寿命の延伸と医療費の適正化に向け積極的に活動されている「日本健康会議」で事務局長をしております渡辺会長より、</p>

<p>会長</p>	<p>【日本健康会議がめざすもの - 犬山に期待すること-】と題しまして、講話をお願いしたいと思います。</p> <p>会長お願いいたします。</p> <p>日本健康会議が目指すもの  安倍内閣の 2014 年頃に健康寿命の延伸・医療費の適正化を民間主導でやるためにスタートした。5年計画で 2020 年までやったんですが、さらに 2025 年まで第2期の健康会議ということでやることになりました。医療界・経済界・保険者団体が協力して、それを事務局含め厚労省などでバックアップする。</p> <p>国民に必要な医療を確保する、それでいて医療費も抑え、さらに国民の願いである健康寿命を延伸すると。みんなが長生きしたらもっと医療費がかかるじゃないかという質問をもらったこともあるが、そうじゃないんだと。犬山は全国的にみて健康寿命と平均寿命が近いですよ。健康寿命と平均寿命が一致すれば一番いい。ピンピンコロリじゃないですが、それが一番理想なんです、そういったことを目指そうじゃないかと。健康寿命の延伸が一番大切だということで第1期がスタートしたわけです。</p> <p>第 2 期の目標は5項目ありますが、特に1番は関係しているところで言うと、宣言1-地域づくり・まちづくりを通して、生活していく中で健康でいられる環境整備に取り組む自治体を 1500 市町村以上とする。</p> <p>いろんな市町村が創意工夫をこらして街づくりをすすめてもらう。</p> <p>これからは市町村の知恵、環境を活かした健康なまちづくりが求められる。</p> <p>健康づくりというと、まず福祉課や保健師の名前が出てくる。これはこれで結構だが、保健師さんだけの仕事じゃなくて、すべての課が関係ある。例えば通いの場で言うと、通いやすい環境づくりというと、福祉課だけの話じゃない。</p> <p>全員野球で、行政だけですべてやろうとせず、市民の手も借りる。今日も市民の代表である議員さんもいて、色んな立場の人がいることはたいへん結構な試みだと思います。</p> <p>地元医師会と地元行政が手を組んだら相当のことが出来るというのはよく言われている。</p> <p>幸いにしても尾北医師会はまとまりが良く、市役所も大変熱心にやってらっしゃるということで、犬山は伸びしろがある、もっと発展できると思っている。</p> <p>2020 年まで地域版日本健康会議を13か所で実施したが、その後新型コロナウイルスが流行し、ずっと中止になっています。今後コロナが落ち着いたらということでやっていきたい。</p>
<p>課長</p>	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>今後の議事進行につきましては、規則第4条第2項の規定に基づき、会長が議長となりますので、渡辺会長に進行をしていただきます。では、2名の署名者のご指名からよろしくお願いいたします。会長、よろしく申し上げます。</p>

会長	それでははじめに、本日の会議録の署名者について、私から指名ということですので、〇〇委員と〇〇委員にご協力をお願いいたします。
会長	それでは、次第に沿って、報告、協議事項に入ります。 事務局より、15:40 を会議の終了時間としたいということですので、ご協力をお願いいたします。 それでは、報告事項の「第 3 次みんなで進めるいぬやま健康プラン21」の策定について」を事務局より説明をお願いいたします。  【資料1 第 3 次みんなで進めるいぬやま健康プラン21の策定について説明】
事務局	続いて議題2の、協議事項に移ります。 協議事項一つ目の「5年度の主な事業について」の説明を事務局からお願いします。
会長	なお、「フレイル事業の展開について」と「妊娠期からの子育て支援事業」を一括で説明をお願いします。
事務局	【資料2 フレイル事業の展開について説明】 【資料3 妊娠期からの子育て支援事業について説明】
会長	ありがとうございました。フレイル予防事業・子育て支援事業、どちらもとても大切な施策だと思います。この2つの事業説明に関して質問はあるでしょうか。
委員	子育て包括支援センターについて 切れ目ない支援は非常に大切だと思っていますし、今これをやられてるという事ですけど、相談件数としてはどの程度あるのでしょうか。それから、様々な横のつながりもあると思うのですが、問題のある事例についての共有するような会議は行われているのでしょうか。
事務局	相談件数は令和 3 年度ですが、電話相談が 41 件、メール相談が 3 件です。 横のつながりについては、DVや子育てに関連して要保護児童対策協議会の方で毎月情報共有していますし、緊急性の高い案件につきましては、その都度対応しています。
委員	新たな伴奏的な相談支援等につなげていくということで期待しています。
会長	フレイル対策として市は、「アイフレイル予防事業」と「オーラルフレイル予防事業」を5年度に新事業として推進していくとの説明がありましたが、 ここで、委員の中に、眼科専門医と、歯科医師がご出席ですので、追加の発言をお願いします。

副会長	<p>フレイルについて私なりにかみ砕いて申し上げたい。</p> <p>フレイルという用語なんですけれども、私なりの解釈では、住民は長く生きたいわけではなく、生きるなら健康に生きたいと思っている。そうしたら自分で自分の事が出来て、人様に迷惑をかけないで済む。また社会保障費も比較的少なくて済む。そこで生まれたのがフレイルという言葉で、健康状態と介護を必要とする寝たきりの中間領域を考えないと皆さんが元気でいられない。資料の2の2番目にフレイルの3つの側面と視覚障害という図があるが、これはフレイルの脆弱的な側面と視覚障害の関わりについてということです。アイフレイルというのはもう少し砕いて言うと、年を重ねることによって眼球は様々な面で衰えてきます。目の脆弱性に様々なストレスが重なって、目に変調が出てくる。それが具体的に表れたのが視覚障害ということです。視覚障害というのはかなり重症化が始まっているということです。視覚障害がフレイルを進行させるメカニズムは単純ではない。視覚障害は身体面の歩行速度の低下を中軸とし、精神面の認知機能の低下、それに社会面の社会的孤立等、3つの側面すべてが連鎖的・多面的に影響を及ぼしている。そういうことが近年やっと知られるようになりまし。結果的にはそれが健康寿命の延伸につながっているということが多くの研究で明らかになっています。これからそういった生活を制限される人を減らしていくことが、フレイルの活動を続けていく上で大事ではないかと思ひます。それらを含めて問診票を作ってフレイルを早く見つけたいと思ひております。</p>
委員	<p>オーラルフレイルということで、フレイルは全身的虚弱のことを言ひますが、全身的なフレイルの前にまずどこに症状が現れるかという、お口の中にその症状が現れるという事でございます。</p> <p>具体的には活舌の悪さや食事面で硬いものが噛めない、むせたり、水と一緒に飲み込まないと飲み込みにくいとかですね。その結果食事を摂るのが億劫で、前よりも食事が小食になってしまったとかですね、そういった症状がまず最初に現れて、それが全身的な病気に繋がって行ってですね、要介護状態につながっていく。</p> <p>ですから、まずオーラルフレイルに関して、予防的に働きかけ、早期介入することで健康寿命の延伸につながっていくと考えます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは2番目の事業でご説明のあった、妊娠期からの子育て支援について訪問型産後ケアの話がありましたが、助産師の委員よりご意見をお願いします。</p>
委員	<p>今まで母子訪問は母親の希望で助産師や支援員が訪問して、子育て世代包括支援センターが始まってからは助産師が妊娠期からお母さんと面談したり電話をしたり、生む直前の訪問をしています。</p> <p>最近では精神的不調をきたす妊婦が多く、産婦人科でもエジンバラという妊婦さんの精神のテストが定期的に行われています。今年度からアウトリーチ型で、訪問でいうと1</p>

	<p>時間から2時間が多かったんですが、今度は3時間という形でお母さんと向きあってあげる。やはり不安が非常に強いお母さんがいます。</p> <p>不安が強いということで、私たちは精神的なところを支援していく。</p> <p>そしてなぜ孤立しているかという、コロナで里帰り分娩できない等の不都合もありましたが、お熱がでるとコロナの診察をしないとかがかれないとかそうがありました。そういう部分で私達は、赤ちゃんが健全に育っているかは、お母さんの笑顔に表れると思って事業に協力させていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>せっかくの機会ですので、他の委員の方で何かご意見はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>令和5年度の新たな事業としてフレイル検診をしていくということですね。</p> <p>私共も市内事業所を対象に検診を行っていますので、詳細が決まったら周知のお手伝いをさせていただけると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私からもぜひよろしく願いいたします。</p>
課長	<p>PR大変ありがたいと思います。健診の方は対象年齢の方には個別にクーポンを郵送いたしますので、クーポンが行ったら受けて欲しいという風にPRしていただければと思います。</p>
会長	<p>それでは協議事項2「犬山市健康づくり推進事業所表彰」ということで事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料4健康づくり推進事業所表彰について説明】</p>
会長	<p>エントリーは14あって、候補としては3つ挙がったということで、またその中で犬山商工会議所が選ばれたよという事ですね。その基準は点数ということですね。</p> <p>これは最初から1社だけを選ぶことになっているのですか。</p>
事務局	<p>優れた取り組みを行っているところだと思っておりますが、近差ではありますので、皆様より点数だけでは判断しきれないところがあればご意見いただきたい。1つにするかどうかというところは決まっています。ですので点数の高い1社にするのか、候補の3社にするのかご意見いただければと思います。</p>
会長	<p>最終的な基準はどうなっているのかなど。何点以上を表彰対象とするだとか、そういう基準がしっかりしていないと委員の皆様も判断し辛いのではないかと質問です。</p>
部長	<p>得点の高かった3社を並べさせていただきましたが、この3つの事業所を1社に絞り込むのも1つですし、候補の3社を表彰しようということでも良いと考えています。</p>



会長	私は1社でも3社でも良いんですが、その基準の明確化というのが分かりにくいのではないかという事です。
委員	悩ましいところだと思いますが、点数以上のところは表彰できるように基準を設ける方が良いかと思います。
事務局	この表彰は今回で2回目です、昨年も4社の中から一番点数が高かったところに決めさせていただきました。前回は点数的には同じくらいで、今回も最終候補3社の中で決めさせていただければと思います。
委員	前回お選びいただいた事業所は今年度エントリーしているのでしょうか。あとは表彰基準ということになると、何点以上ということが必要ではないかと思います。
課長	昨年にならって3社選出いたしました、来年度からは最低基準等そのあたりも検討していきたいと考えております。 今回につきましては1社選んでいただければと思います。
会長	分かりました。やはり相対的にトップのところというよりは、基準以上をクリアしたところという考えの方が良いと思う。 もうちょっと明確でわかりやすい基準を示していただきたい。 今回は犬山商工会議所さんを表彰するという事で決定させていただきます。  その他全体を通してご意見のある方
委員	地域づくり、地域とのつながりという事で、地域をどういうふうと考えていけるか。例えば若いお母さんが班の人たちとのふれあいを持って子育てができる地域を目指すのか、組織として包括支援センターがあって支援できる。そういうのを地域として考えるのか、そこらへんはどうなんでしょうか。
会長	結局子育てにしてもまちづくりにしても、私は地域において子育て教育であれ躰であれ本当は全てを地域でやってボトムアップして上にあげていく。私はそれが地域の在り方だと考えています。
市長	皆様改めましてありがとうございます。色んな議論を聞かせていただきました。一つさっきの点数については表彰規定について改めて意見を受け止めて検討していきたい。 私達の宝はこういった人材がおみえになるということです。

	<p>保健事業も介護事業も一体的な事業を進めていきたい。専門職のみなさんもプラットホームになって一体的な事業を進めていきたいです。</p> <p>そして地域に波及をしていく展開を目指していきたい。そのために市も全力を尽くしていきますし、まさに皆様はそういった役割を担っていただく誇るべき重要な人材でありますので、そんな思いで事業展開・計画づくりに努めてまいりたいです。引き続きご指導ご鞭撻の程よろしく願いを申し上げながら、様々議論をいただいて私も気づきを頂きましたので、これからにつなげていきたいと思えます。本当に本日はありがとうございました。</p>
会長	<p>市長ありがとうございました。それでは協議事項は全て終わったと思えますので、事務局の方にお返しします。事務局何かありますでしょうか。</p>
課長	<p>簡単に来年度の新型コロナウイルスワクチン接種について2類から5類に変わることもありますので、説明をさせていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>希望者が無料でワクチンを受けられる特例接種が1年延長され、令和5年度は無料で接種を受けられることになりました。回数につきましては健康な人は1回、高齢者や重症化リスクのある人は年に2回打つ形で定められました。まず初回は5月以降に高齢者とリスクのある基礎疾患をお持ちの方が接種の対象になりまして、秋からは健康な人を含めてみんなが打てるようになります。4月になりましたら接種券を送らせていただきたいという事で調整を進めさせていただいております。令和5年度もワクチン業務を継続していきますのでよろしくお願いいたします。</p>
課長	<p>事務局からは以上です。</p> <p>それでは会長ありがとうございました。本日皆様からいただいたご意見を踏まえ検討を進めてまいりたいと思えます。これをもちまして健康まちづくり推進委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>